

防災キャンプ2016 in 京都（北部）

防災キャンプ2016in 京都（北部）の様子を紹介します。

実施日時： 平成28年7月30日（土）10:00～17:00

実施場所： 舞鶴市中央公民館

参加人数： 120名（参加者、協力者、スタッフ含む）

活動内容：



学び①「～親子で考えよう～ 大雨と防災について」

京都府中丹東土木事務所



体験①「心肺蘇生法(PUSH法)・消火訓練」

舞鶴市消防本部・舞鶴市東消防署





非常食体験「炊き出し(豚汁・おにぎり)」

中舞鶴婦人会ボランティアグループ



学び②「防災と災害ボランティア活動」



舞鶴市社会福祉協議会



制作「避難所生活に役立つグッズ作り」



舞鶴市レクリエーション協会



体験②「災害時に活躍する護衛艦見学」

海上自衛隊舞鶴地方総監部



閉講式

参加者の感想より

- ・ 防災とは何かボランティアとは何かという事が講師の経験を通してよく理解できた。PUSH 法については、自分が倒れた時や他の人が倒れた時に知識と経験を発揮できるように努めたい。(一般)
- ・ 何事も勇気をもって積極的にしなければならないと思った。(一般)
- ・ 毎年日本の各地でいろいろな災害に見舞われていて、ニュースを見るたびに人ごとでなくて自分のこととして考えていかなければと常々考えていました。今回は家族で参加したので、今日学んだことを忘れないように話題にしていきたい。(一般)
- ・ 心肺蘇生法、消火訓練のことを知り、一番役立てようと思った。消防士になりたいのでできてよかった。自分のためにも人のためにも役立てたいと思った。(小学生)
- ・ AED の使い方や、心臓マッサージの仕方を初めて知った。(中学生)
- ・ 避難所生活の大変さをグッズ作りを通して改めて知ることができた。グッズ作りで教えていただいたことはどれも役に立つものばかりだと思った。災害ボランティアにも興味をもち、ボランティア活動に参加したときには、被災者の方の気持ちを考えながら行動したい。(高校生)
- ・ 今回学んだ事を活かせるように準備することを意識したい。そのために日頃から災害の事を考えたり、家族と話し合ったりして知識を深めようと思う。人と人が協力することで救える命が増えることを学んだ。(高校生)